



甲佐町長

おくな
奥名

かつみ
克美

新年のごあいさつ

明けましておめでとうござい
ます。

昨年は、新型コロナウイルスの
感染拡大に留意しつつも、3年ぶ
りに開催された「あゆまつり」や
「甲佐蚤の市」、「産業文化祭」など、
季節のイベントに町内外から訪れ
た多くの人でまちがにぎわい、少
しずつではありますが、以前の活
気が戻りつつあると感じる一年と
なりました。「甲佐町やな場」も、
町の若手による営業再開と新たに
通年での営業がスタートし、観光
や地域のますますの活性化も期待

されています。

一方で、新型コロナウイルス感
染症は変異株の出現などによりい
まだ収束が見えず、また急激な物
価高騰が地域経済に大きな影響を
及ぼしています。町では、迅速な
ワクチン接種や国の「地方創生臨
時交付金」を活用した生活・事業
支援など、引き続き、必要な対応
を実施して参ります。

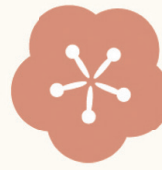
さて、今年はいよいよ、熊本地
震からの復興のシンボルとして整
備を進めてきた「熊本甲佐総合運
動公園」（通称：Kパークこうさ）

が全面完成を迎えます。これまで
歩んできた復旧・復興の道のりを
思うと非常に感慨深いと同時に、
まちの更なる発展に向け気持ちを
新たにしているところです。将来
を見据え、持続可能で、誰もが
「住みたい・住み続けたい」と実
感できる創造的なまちづくりを進
め、町政運営4期目の最後の年の
総仕上げを目指して参ります。

町民の皆様にとりまして、本
年が健やかで輝かしい一年となり
ますことをお祈り申し上げます、
年頭のごあいさつといたします。

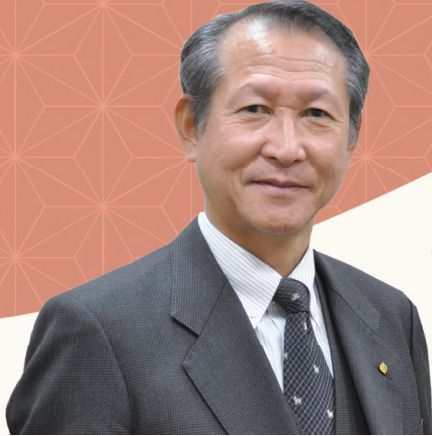
甲佐町議会議員

みやがわ
宮川
やすあき
安明



甲佐町教育長

くらはた
蔵田
ゆうじ
勇治



町民の皆様、明けましておめで
とございます。

令和5年の年頭にあたり、甲佐
町議会を代表し、謹んで新春のご
挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、
新たな期待と希望をもって、輝か
しい新春をお迎えのこととお慶び
申し上げます。また、平素から町
議会に對しまして温かいご支援を
賜り、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感
染拡大の収束がまだ見通せないな
か、昨年2月から現在も続くロシ

明けまして、おめでとうござい
ます。謹んで新春のご挨拶を申し
上げます。また、日頃から学校教
育、社会教育などの本町教育行政
に温かいご理解とご支援、ご協力
を頂いておりますことに深く感謝
申し上げます。

昨年2月から始まったロシアに
よるウクライナ侵攻では、市民、
とりわけ子どもたちの犠牲の報道
に心が痛みます。ウクライナに一
刻も早い平和と安寧が訪れること
を祈るばかりです。

また、長期にわたる新型コロナ

アによるウクライナへの侵攻が、
世界経済に与える影響は小さくな
く、本町においても、原油価格高
騰による家計への打撃など、私た
ちの日常生活や経済活動に多大な
影響を与えております。

町議会といたしましても、人口
減少や超少子高齢社会に対する課
題があるなか、さまざまな課題に
對し、町民の皆様の声に耳を傾け、
町民の皆様を代表であることを強
く自覚し、日々研鑽に務め、町民
の方々が安心して、幸せな日々をお
過ごしいただけますよう、一層の

感染症禍の中、私たちの暮らしは
大きな影響を受けています。学校で
も、給食の黙食、集会・行事の縮
小など、子どもたちも窮屈な学校
生活を余儀なくされてきました。

世界平和と、子どもたちが伸び伸
びと学び遊べる日常が、一日も早
く戻れることを心から願っています。

そのような中でも、未来に向
かって羽ばたくため、一生懸命に
学ぶ子どもたちの姿があります。

「今の子どもたちは、今はまだ存
在しない職業に就いて生きていく
ため、今はまだ無い知識や技術を

努力を重ねて参る所存でございま
す。

本年2月には、任期満了に伴う
町議会議員選挙が予定されており、
議員定数が12人から11人となる最
初の改選になります。町民の皆様
の負託を受けた11人の議員による
甲佐町議会が形成されますが、今
後とも、ご指導並びにご支援をよ
ろしくお願いいたします。

町民の皆様にとりまして、実り
多き年でありますことをご祈念申
し上げ、年頭のご挨拶といたしま
す。

使って、今はまだ出会っていない
課題を解決するために、今、学ば
なければならぬ。これは、文部
科学省主催の会で聞いた言葉です。
ソサエティ5.0と呼ばれる未
来社会に生きていくため、「アク
ティブ・ラーニング」と呼ばれる
未来指向型の学びを子どもたちは
今、頑張っています。子どもたち
の学びと町民の生涯学習を支え、
豊かな地域文化と文化財などを大
切に守り育む「文教の町、甲佐」
の未来を想いながら、年頭のご挨
拶といたします。

の学びと町民の生涯学習を支え、
豊かな地域文化と文化財などを大
切に守り育む「文教の町、甲佐」
の未来を想いながら、年頭のご挨
拶といたします。